

えぐね

※えぐねは、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に杉・栗・桐などの木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林である。杉は建築材に、落葉は燃料や肥料などにも使われた。冬は温かく、夏は涼しく、緑豊かで快適な住環境を形づくるとともに、日本の原風景を代表する豊潤な景観を生み出している。

☆☆まなびフェストに関わる☆☆

学校評価の結果①をお知らせします

一学期末に実施した学校評価の結果をお知らせします。今回は、356人の保護者の皆様からご協力をいただきました。スキャナーで読み切れなかったり、複数の項目にマークをされていたりした場合の分を除いて報告させていただきます。



1 まなびフェストを知っていますか

知っている 258人 (78%)
知らない 74人

まなびフェストとは、学校や生徒の実態に応じて重点化した項目について、①より具体的で、明確な達成目標を設定し、②教職員、児童、保護者が一体となって取り組むことにより、③生徒に身に付けさせたい基礎・基本（学力、体力、生活習慣等）の定着を図ることを目的とした取り組みです。本来であれば、4月のPTA総会でお示しし、取り組みの内容について確認するべきところでしたが、今年はコロナ禍でそれがかなわず、若干低めの認知度になってしまいました。これを機に、まなびフェストへの理解を深めていただき、より意義深い活動になるようさらに協力いただくことが出来れば幸いです。

2 まなびフェストに共感できますか

※1で「知っている」と回答した方のみ

共感できる 103人 (40%)
どちらかと言えば共感できる 157人 (60%)
どちらかと言えば共感できない 2人
共感できない 0人

「内容が小学生レベルでは？」というご意見をいただきました。ご家庭の状況に応じて、出来るところから取り組んでもらうのがまなびフェストです。肯定的評価が大多数を占めれば、内容を精査し、より高い意識に向かわせていきたいと考えています。

3 学校に期待する教育や指導は何ですか

学習意欲を高める 231人
コミュニケーション力を高める 202人
教科の学力を伸ばす 199人
規範意識や思いやりの心を育む 179人
将来の進路や職業を考えさせる 159人
地域や社会に貢献する態度を育む 130人
体力やスポーツの能力を向上させる 126人
外国語でコミュニケーションをとれる 101人
コンピューターを活用する能力を育てる 96人
健康や食について教える 46人
その他 5人

教科の学力向上への要望もさることながら、学習意欲の向上とコミュニケーション能力の育成への期待が高いことが改めてわかりました。これは昨年度と全く同じ結果であり、「求めるもの＝課題」というようにとらえても良さそうです。

学校で起きているいじめやいざごの大多数は、言葉が乏しかったり、場にそぐわない行動や態度をとってしまったこと、お互いの気持ちを思いやり、適切な言葉や行動をとることが出来れば、このような問題は劇的に少なくなっていくのではないかと考えます。

4 3について、学校は全体として期待に応えていると思いますか

そう思う 51人 (16%)
どちらかと言えばそう思う 230人 (70%)
どちらかと言えばそう思わない 42人 (13%)
そう思わない 6人 (2%)

厳しくも温かい評価をいただきました。ちなみに昨年度は、「そう思う」が33人 (10%) でした。保護者と学校の思いや、生徒の願いを時代の要請に合わせて上手くすりあわせていく必要があります。

2学期は、「そう思う」という評価をもっとたくさんいただけるよう、職員一丸となって頑張りたいと思います。

5 学校や学級の教育活動に関する情報提供(学校・学級便り、ホームページ等)は役立っている

あてはまる 214人 (63%)
どちらかといえばあてはまる 118人 (35%)
どちらかといえばあてはまらない 11人 (3%)
あてはまらない 0人

自由記述欄に、右のようなことを書いてくださった方がいました。これこそ私たちが通信を出す所以であります。このような声を励みに、これからもえぐねを発行していきます。

学校からのお便りで学校のことがわかり大変ありがたく思います。お便りを通して子どもと会話することが出来、子どもたちの細やかな変化にも気づくことが出来ました。今後ともよろしく願いいたします。

6 学校は、テスト結果や学力調査の結果を知らせ、学力の状況について伝えている

あてはまる 198人 (60%)
どちらかといえばあてはまる 119人 (36%)
どちらかといえばあてはまらない 11人 (3%)
あてはまらない 2人

7 学校は、家庭学習の課題を計画的に出している

あてはまる 138人 (44%)
どちらかといえばあてはまる 153人 (48%)
どちらかといえばあてはまらない 25人 (8%)
あてはまらない 3人

授業と家庭学習との連動は、我々も課題としていくところですが、日々課題意識を持って、さらなる改善に取り組んでいきます。

8 学校は、気になることは、即、連絡するなど家庭との迅速な連携に努めている

あてはまる 102人 (32%)
どちらかといえばあてはまる 176人 (54%)
どちらかといえばあてはまらない 43人 (14%)
あてはまらない 5人

9 学校は、しっかりと「いじめ」に対応している

あてはまる 93人 (30%)
どちらかといえばあてはまる 169人 (54%)
どちらかといえばあてはまらない 42人 (14%)
あてはまらない 10人 (4%)

いじめの未然防止、いじめが起こった際の指導の具体的流れ、再発防止を企図したいじめ防止基本方針に則り、訴え(または情報提供)があった全ての事案について調査、指導を行っています。指導した事実については、基本的に全ての関係保護者に連絡を差し上げています。ただし、事案の内容によってはあまり公にしない方が良い場合や、生徒当事者同士で解決した方が良い場合もあります。自由記述の中に「いじめに関して、保護者には連絡、情報提供がない。子どもの安心を訴えることがあったが、状況がわからないので非常に困る。どういった対応方針なのか、明らかにしていただきたい。」という記載がありました。いじめは、被害者の気持ちに寄り添うことを第一に考えて指導に努めていますが、解決に導くためには加害者(その意識がない場合)もしばしばあります)の気持ちをしっかりと吐き出させることも大切になってきます。様々な状況によっては、ご家庭への情報提供が遅れる場合があることをご理解いただくと助かります。※次号に続きます。

当面の動きについて

本日より、地区新人戦等の大会に向けての部延長が始まりました。県新人戦も開催する方向で準備が進められています。3年生の修学旅行は、9月8日(秋田県横手市方面)と11日(地元巡り)の宿泊無しでの分散開催としました。先日行われた保護者説明会では、企画の意図に多大なご理解をいただき、提案通り開催することとなりました。10月には体育祭と文化祭が控えています。どちらも安全安心を最優先とし、規模を縮小して実施せざるを得ない状況ですが、限られた中でもより充実したものとなるよう目下知恵を絞っているところです。

夏休みが明けてから猛暑が続いています。まなびフェストのアンケートの中で、「エアコンの設定温度を下げしてほしい」という要望がけっこうありました。現在は28度に設定していますが、座席によってはもろに風が当たり、身体が冷えすぎないように上着を着ている人もいます。ここは折り合いどころを見つけて、エアコンの恩恵にあずかってほしいと思います。

ちなみに校長室はこんな状態です。暑さもあと一週間でしょうか。各自対策をして何とか乗り切っていきましょう。

